

令和9年度

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科

博士前期課程

工学専攻

学 生 募 集 要 項

推薦入学特別入試
一般入試
飛び級入試
社会人特別入試

鳥 取 大 学

※鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻では、高い研究能力を持つ学生を学内外から積極的に受入れ、優れた研究者及び技術者を育成するため、①推薦入学特別入試、②一般入試、③飛び級入試、④社会人特別入試及び⑤外国人留学生特別入試を実施します。この募集要項は、外国人留学生特別入試以外の入試について記載しています。

[各入試日程]

(推薦入学特別入試)

	推薦入学特別入試
出願期間	6月2日(火)～5日(金)
試験日	7月3日(金)
合格発表	7月22日(水)
入学手続	令和9年3月中旬

(第1回 一般入試, 社会人特別入試)

	一般入試	社会人特別入試
出願資格審査 申請期間	5月19日(火)～22日(金)	
	※21ページ又は22ページを参照	
出願期間	7月21日(火)～24日(金)	
試験日	8月19日(水)	
合格発表	9月3日(木)	
入学手続	令和9年3月中旬	

(第2回 一般入試, 飛び級入試, 社会人特別入試)

	一般入試	社会人特別入試	飛び級入試
出願資格審査 申請期間	9月28日(月)～9月30日(水)		
	※21ページ又は22ページを参照		※11ページを参照
出願期間	10月26日(月)～10月29日(木)		
試験日	12月10日(木)		
合格発表	12月24日(木)		3月4日(木)
入学手続	令和9年3月中旬		

【予告】「医工情報科学コース」の新設について

令和9年4月より、持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻に「医工情報科学コース」（定員18名）を新設します。「医工情報科学コース」に係る学生募集要項の公表は、文部科学省に入学定員の変更が承認された後（現在、文部科学省へ概算要求を申請中のため変更が生じることがあります）となりますが、入試スケジュールとしては、下記のとおり予定しています。

	推薦入試	一般入試
募集要項の公表	令和8年9月上旬	
出願期間	令和8年10月下旬	11月下旬～12月上旬
試験実施	令和8年11月中旬	12月中旬
合格発表	令和8年12月上旬	12月下旬

（※現時点の予定であり、変更となる可能性があります。）

「医工情報科学コース」への進学を検討する者は、9月上旬にウェブページ（<https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/graduate/3423>）で公表予定の募集要項を確認してください。

「医工情報科学コース」の概要はこちら【(<https://eng.tottori-u.ac.jp/>)】をご覧ください。



目 次

	頁
I. 推薦入学特別入試	1
II. 一般入試	5
III. 飛び級入試	11
IV. 社会人特別入試	15
V. 入学手続等	19
VI. 出願資格審査	21
VII. 入学者の受入れの方針	23
VIII. コース一覧	24

I. 推薦入学特別入試

1. コース及び募集人員

コース	募集人員
機 械 宇 宙 工 学 コ ー ス	4 4 人
情 報 エ レ ク ト ロ ニ ク ス コ ー ス	5 0 人
化 学 バ イ オ コ ー ス	3 9 人
社 会 シ ス テ ム 土 木 コ ー ス	2 9 人
計	1 6 2 人

※上記の募集人員は、推薦入学特別入試、一般入試、社会人特別入試、飛び級入試、外国人留学生特別入試の合計です。

2. 出願資格

次のすべてに該当する者

- (1) 次の①、②のいずれかに該当する者
 - ① 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び令和9年3月までに卒業見込みの者
 - ② 工業高等専門学校専攻科を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
(これに該当する場合は、学校教育法第104条第7項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和9年3月までに授与される見込みの者であること。)
- (2) 学業成績、人物ともに優れ、将来工学の研究分野において貢献ができる者
- (3) 合格した場合は入学が確約できる者

3. 志望方法

志望は、いずれか一つのコースに限ります。

志望するコースを入学志願票の志望コース欄に記入してください。

なお、出願にあたっては、事前に指導希望教員と相談のうえ出願してください。

※志望コースについては、24ページを参照してください。

入学希望者と指導希望教員との間で行う事前相談については、以下のルールを定めています。

- (1) 入試に関する情報は、公表されている学生募集要項に基づいて伝え、特定の志願者に有利となる情報提供は行いません。
- (2) 事前相談では、主に入学後の研究分野や研究内容・計画に関する確認を行い、学力検査や面接（口頭試問）の内容に関する情報漏洩がないよう留意します。
- (3) 事前相談の中で、合格が確約されたかのような誤解を招く情報伝達はしません。
- (4) 志願者の個人情報情報は慎重に取り扱い、事前相談以外の目的には使用しません。

4. 出願手続

- (1) 出願期間

第1回 令和8年 6月 2日(火)から 6月 5日(金)まで (必着)

受付時間は、9時から17時まで

(2) 出願書類提出先

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部教務係

(3) 出願方法

入学志願者は、次の(4)の出願書類等を直接持参又は郵送により提出してください。
なお、願書を郵送する場合は「書留」とし、封筒の表に「大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻出願書類等在中」と朱書してください。(期間内必着)

(4) 出願書類等 (※出願書類受付後の記載事項の変更は認めません。ただし、⑦ TOEIC®スコア証明書は除く。)

①入学志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
②写真票, 受験票, 振替払込受付証明書貼付票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 写真(上三分身(おおむね胸から上)・無帽・正面向き・無背景・カラーで、出願前3か月以内に撮影したもの)を写真票及び受験票の所定の位置に貼り付けてください。<写真の大きさ:縦4cm×横3cm> 検定料を本学所定の振込用紙で振り込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。
③推薦書	本学所定の用紙により学科長又は指導教員(もしくはこれに準ずる者)が作成、厳封したもの。 入手しにくい場合は自己推薦書とし、自己をアピールする文章、本研究科を志望した動機及び入学後の研究計画を記載したもの(A4判2枚程度で任意様式)。
④卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書	出身(在籍)大学等の長などが作成したもの。 ただし、鳥取大学工学部を卒業した者及び卒業見込みの者は提出不要です。
⑤学士の学位授与証明書 又は授与申請の証明書等	出願資格(1)の②に該当する志願者で、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。ただし、授与される見込みの者は、学士の学位授与を申請する予定の証明書(所属長が発行したもの)。
⑥成績証明書	出身(在籍)大学等の長などが作成し、厳封したもの。 ただし、鳥取大学工学部を卒業した者及び卒業見込みの者は提出不要です。
⑦TOEIC®スコア証明書 (原本またはデジタル公式 認定証) ・TOEIC®-公開テスト ・TOEIC®-IP (カレッジTOEIC®を含む)	出願開始日から遡って、3年以内に受験したもの。 (TOEIC®スコア証明書の原本は書類確認後返却します。) *出願書類提出後、TOEIC®スコア証明書の差し替えを希望する者は、第1番目の試験科目の直前に限り試験室にて提出(差し替え)することを認めます。スコア証明書の原本は面接時に返却します。 *TOEIC®デジタル公式認定証はPDFデータをプリントアウトしたものを提出してください。
⑧受験票等返送用封筒	郵便切手410円分(速達料を含む。)を貼った長形3号封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記してください。
⑨住所シール	住所シールに合格通知書及び入学手続き書類を受け取る郵便番号、住所、氏名を記入してください。
⑩住民票等 (外国人志願者のみ)	日本に在住する外国人志願者は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し(両面)等、在留資格が記載されたものを、その他の外国人志願者はパスポートの写しを提出してください。
⑪検定料	30,000円 本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口又は郵便局

	<p>(ゆうちょ銀行) 窓口で振込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。(ATMは利用しないでください。また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。)</p> <p>「振替払込請求書兼受領証」は領収書となりますので、大切に保管しておいてください。</p> <p>※検定料は、令和8年5月28日(木)～6月5日(金)までの期間に振り込みをしてください。</p> <p>なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>(ア) 検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった) 場合</p> <p>(イ) 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合</p> <p>(ウ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>上記(ア)～(ウ)に該当する場合は、必ず工学部教務係(TEL 0857-31-5186)へ連絡してください。返還の際には、「振替払込受付証明書」又は「振替払込請求書兼受領証」が必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。(返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。)</p>
--	--

注：TOEIC®スコア証明書を紛失した場合

受験後2年以内であれば再交付が可能です。再交付についての詳細は、TOEIC運営委員会に直接問い合わせるか、TOEIC公式HPを参照してください。鳥取大学の学生で、鳥取大学主催(TOEIC®-IP)のTOEIC®スコア証明書の再交付については、学生部教育支援課教務企画係(TEL 0857-31-5054)に、鳥取大学生協同組合主催(カレッジTOEIC®)のTOEIC®スコア証明書の再交付については、鳥取大学生協同組合(TEL 0857-28-2333)に問い合わせてください。

なお、TOEIC®スコア証明書の再交付には、申請から約2週間かかりますので注意してください。

5. 入試方法

入学者の選抜は、出願書類、面接(口頭試問を含む)の結果の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。

口頭試問は、研究実績と研究計画に基づく質疑応答の形式で実施します。

質疑応答は、本研究科での教育・研究活動を行うために必要な資質の観点から評価します。

6. 試験日時及び試験場等

試験日時 令和8年 7月 3日(金) 9時～

試験場 〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部

試験室等については、試験前日午後3時から工学部正面玄関に掲示します。

集合場所 各コース面接控室

7. 受験にあたっての留意事項

- (1) 試験当日、受験者は試験開始15分前までに試験室に入室してください。
- (2) 試験開始時刻に遅れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- (3) 試験当日、受験者は受験票を必ず持参し、試験の際には机の上に置いてください。
なお、受験票を忘れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。
- (4) 試験開始から終了までの間は退出を認めません。試験中の発病又は用便等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- (5) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチ・スマートグラ

ス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は、試験時間中に使用してはいけません。試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておかばん等にしまっておいてください。試験時間中に身に付けていたり、手に持っていることが不正行為となる場合があります。

(6) 試験場の下見では、建物内への立ち入りを禁止します。

(7) 本学は、構内全面禁煙です。

8. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のために、受験上及び修学上配慮を希望する者は、令和8年5月20日(水)までに、次の事項を記載した文書(様式自由)に医師の診断書又は障害者手帳の写しを添えて、鳥取大学工学部教務係へ提出してください。

なお、本研究科が必要と認めた場合には、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る者等との面談等を行います。また、上記期限後に、不慮の事故等により配慮が必要となった者は、その時点で速やかに相談してください。

(1) 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号

(2) 志望コース

(3) 出身大学、学部、学科等

(4) 障がいの種類・程度

(5) 受験上特別な配慮を希望する配慮

(6) 修学上特別な配慮を希望する配慮

(7) 出身大学等でとられていた修学上及び生活上等の措置

(8) 日常生活の状況

9. 合格発表

令和8年 7月22日(水) 11時

本学ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、本人あて「合格通知書」を郵送します。(https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/)

なお、電話等による照会には一切応じません。

10. 推薦入学特別入試で不合格となった者の取り扱い

推薦入学特別入試で不合格となった者のうち、一般入試の受験を希望する者は受験を認めます。

11. その他

大規模災害等の不測の事態により入学試験の予定通りの実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は、試験時間の短縮や試験日時、入試方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合、対応を本学ホームページでお知らせしますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。

令和9年度
鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻入学者選抜試験
(推薦入学特別入試)

入 学 志 願 票

	受験番号	※
志望コース	コース	志望指導教員名
フリガナ	鳥取大学学生番号 (本学在学生のみのみ)	
氏名		
生年 月日	年 月 日生	性別 男 ・ 女
出願資格	国立 公立 私立 大学 学部 学科 短期大学 高等専門学校 専攻 年 月 卒業 ・ 卒業見込 ・ 修了 ・ 修了見込	
連絡先	〒 - 携帯電話 - - 電話 - -	
履 歴 書		
年 月	高等学校卒業	
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

- 注 1. 記入にあたっては、必ずインク又はボールペン（黒又は青）を使用してください。
2. ※印の欄を除きすべて記入し、該当事項を○で囲んでください。
3. 履歴は、高等学校卒業から現在（卒業見込み等）までを空白期間が無いように記入してください。なお、記入欄が不足する場合は、適宜別様に記載してください。
(自宅学習・予備校等も、もれなく記入してください。)

令和9年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 **写真票**
(推薦入学特別入試)

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
志望コース	コース

上三分身・無帽・正面向
き・無背景・カラー
出願3か月以内に撮影→

写真貼付 4 cm × 3 cm

令和9年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 **受験票**
(推薦入学特別入試)

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
志望コース	コース

写真票と同一のもの→

写真貼付 4 cm × 3 cm

* 志望コースについてはコース一覧参照

(切り離さないでください)

令和9年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 (推薦入学特別入試)

振替払込受付証明書貼付票

- ◎日付印のある「振替払込受付証明書」を貼り付けてください。
(本人保管の「振替払込請求書兼受領証」は貼り付けしないでください。)
- ・必ず銀行又は郵便局(ゆうちょ銀行)窓口で振り込んでください。
(ATMは利用しないでください)
 - ・「振替払込受付証明書」に日付印が無い場合は無効です。

〔推薦入学特別入試〕

推 薦 書

年 月 日

鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科長 殿

推薦者（所属・職名）

（氏 名） _____ 印

志願者氏名	
<p>志願者の学力・適性等について記入してください。また、志願者の席次や上位何パーセント以内であるか等、なんらかの相対評価を盛り込んでください。<u>（記入後は厳封願います。）</u></p>	

II. 一般入試

1. コース及び募集人員

コース	募集人員
機械宇宙工学コース	44人
情報エレクトロニクスコース	50人
化学バイオコース	39人
社会システム土木コース	29人
計	162人

※上記の募集人員は、推薦入学特別入試，一般入試，社会人特別入試，飛び級入試，外国人留学生特別入試の合計です。

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び令和9年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和9年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに授与させる見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者

- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で22歳に達した者及び令和9年3月31日までに22歳に達する者

(注) 上記(9)で出願する者は22ページ、(10)で出願する者は21ページを参照してください。

3. 志望方法

志望は、いずれか一つのコースに限ります。

志望するコースを入学志願票の志望コース欄に記入してください。

なお、出願にあたっては、事前に指導希望教員と相談のうえ出願してください。

※志望コースについては、24ページを参照してください。

入学希望者と指導希望教員との間で行う事前相談については、以下のルールを定めています。

- (1) 入試に関する情報は、公表されている学生募集要項に基づいて伝え、特定の志願者に有利となる情報提供は行いません。
- (2) 事前相談では、主に入学後の研究分野や研究内容・計画に関する確認を行い、学力検査や面接(口頭試問)の内容に関する情報漏洩がないよう留意します。
- (3) 事前相談の中で、合格が確約されたかのような誤解を招く情報伝達はしません。
- (4) 志願者の個人情報(注)は慎重に取り扱い、事前相談以外の目的には使用しません。

4. 出願手続

- (1) 出願期間

第1回 令和8年 7月21日(火)から 7月24日(金)まで(必着)

第2回 令和8年10月26日(月)から10月29日(木)まで(必着)

受付時間は、9時から17時まで

- (2) 出願書類提出先

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部教務係

- (3) 出願方法

入学志願者は、次の(4)の出願書類等を持参又は郵送により提出してください。

なお、郵送の場合は「書留」とし、封筒の表に「**大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻出願書類等在中**」と朱書してください。(期間内必着)

- (4) 出願書類等(※出願書類受付後の記載事項の変更は認めません。ただし、⑦ TOEIC®スコア証明書は除く。)

①志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
②写真票、 受験票、 振替払込受付証明書貼付票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 写真(上三分身(おおむね胸から上)・無帽・正面向き・無背景・カラーで、出願前3か月以内に撮影したもの)を写真票及び受験票の所定の位置に貼り付けてください。<写真の大きさ:縦4cm×横3cm> 検定料を本学所定の振込用紙で振り込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。
③志望理由書	本研究科を志望した動機、入学後の研究計画及び本研究科修了後の将来の抱負を記載したもの(A4判2枚程度で任意様式)。
④卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	出身(在籍)大学等の長などが作成したもの。 ただし、鳥取大学工学部を卒業した者及び卒業見込みの者は提出不要です。
⑤学士の学位授与証明書又は授与申請の証明書等	出願資格(2)に該当する志願者で、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。ただし、授与される見込みの者は、学士の学位授与を申請する予定の証明書(所属長が発行したもの)。

	<p>または、出願資格（6）に該当する志願者で、当該大学が発行したもの。ただし、授与される見込みのものは、学士の学位授与を申請する予定の証明書（所属長が発行したもの）。</p>
⑥成績証明書	<p>出身（在籍）大学等の長などが作成し、厳封したもの。 ただし、鳥取大学工学部を卒業した者及び卒業見込みの者は提出不要です。</p>
⑦TOEIC®スコア証明書 （原本またはデジタル公式認定証） ・TOEIC®-公開テスト ・TOEIC®-IP （カレッジTOEIC®を含む）	<p>出願開始日から遡って、3年以内に受験したもの。 （TOEIC®スコア証明書の原本は書類確認後返却します。） *出願書類提出後、TOEIC®スコア証明書の差し替えを希望する者は、第1番目の試験科目の直前に限り試験室にて提出（差し替え）することを認めます。スコア証明書の原本は面接時に返却します。 *TOEIC®デジタル公式認定証はPDFデータをプリントアウトしたものを提出してください。</p>
⑧受験票等返送用封筒	<p>郵便切手410円分（速達料を含む。）を貼った長形3号封筒に、住所、氏名、郵便番号を明記してください。</p>
⑨住所シール	<p>住所シールに合格通知書及び入学手続き書類を受け取る郵便番号、住所、氏名を記入してください。</p>
⑩住民票等 （外国人志願者のみ）	<p>日本に在住する外国人志願者は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し（両面）等、在留資格が記載されたものを、その他の外国人志願者はパスポートの写しを提出してください。</p>
⑪検定料	<p>30,000円 本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口又は郵便局（ゆうちょ銀行）窓口で振込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。（ATMは利用しないでください。また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。） 「振替払込請求書兼受領証」は領収書となりますので、大切に保管しておいてください。 ※検定料は、第1回入学試験を志願する者は令和8年7月10日（金）～7月24日（金）までに、第2回入学試験を志願する者は令和8年10月19日（月）～10月29日（木）までの期間に振り込みをしてください。 なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 （ア）検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった）場合 （イ）検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合 （ウ）検定料を誤って二重に振り込んだ場合 上記（ア）～（ウ）に該当する場合は、必ず工学部教務係（TEL 0857-31-5186）へ連絡してください。返還の際には、「振替払込受付証明書」又は「振替払込請求書兼受領証」が必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。（返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。）</p>

注：TOEIC®スコア証明書を紛失した場合

受験後2年以内であれば再交付が可能です。再交付についての詳細は、TOEIC運営委員会に直接問い合わせるか、TOEIC公式HPを参照してください。鳥取大学の学生で、鳥取大学主催（TOEIC®-IP）のTOEIC®スコア証明書の再交付については、学生

部教育支援課教務企画係（TEL 0857-31-5054）に、鳥取大学生生活協同組合主催（カレッジ TOEIC®）の TOEIC®スコア証明書の再交付については、鳥取大学生生活協同組合（TEL 0857-28-2333）に問い合わせてください。

なお、TOEIC®スコア証明書の再交付には、申請から約 2 週間かかりますので注意してください。

5. 入試方法

入学者の選抜は、出願書類、学力検査及び面接の結果の総合点の高い順に順位付けし、可否を判定します。同点の場合は、同順位とします。

試験科目等は、10 ページを参照してください。

6. 試験日及び試験場

試験日 第1回 令和8年 8月19日（水）

第2回 令和8年12月10日（木）

試験場 〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部

試験室等については、試験前日午後3時から工学部正面玄関に掲示します。

7. 受験にあたっての留意事項

- (1) 試験当日、受験者は試験開始15分前までに試験室に入室してください。
- (2) 試験開始時刻に遅れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- (3) 試験当日、受験者は受験票を必ず持参し、試験の際には机の上に置いてください。
なお、受験票を忘れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。
- (4) 試験開始から終了までの間は退出を認めません。試験中の発病又は用便等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- (5) 試験科目（面接を含む。）のうち1科目でも受験しなかった者は、選考対象になりません。
- (6) 机の上には、受験票のほか、黒鉛筆（シャープペン可）、鉛筆キャップ、消しゴム、定規、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、関数電卓（化学バイオコース及び社会システム土木コースの試験で、関数電卓を持参することになっている科目の受験時のみ）以外の携行品を置くことは出来ません。
- (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチ・スマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は、試験時間中に使用してはいけません。試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておかばん等にしまっておいてください。試験時間中に身に付けていたり、手に持っていると不正行為となることがあります。
- (8) 試験場の下見では、建物内への立ち入りを禁止します。
- (9) 本学は、構内全面禁煙です。

8. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のために、受験上及び修学上配慮を希望する者は、第1回は令和8年7月3日（金）までに、第2回は令和8年10月16日（金）までに、次の事項を記載した文書（様式自由）に医師の診断書又は障害者手帳の写しを添えて、鳥取大学工学部教務係へ提出してください。

なお、本研究科が必要と認めた場合には、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る者等との面談等を行います。また、上記期限後に、不慮の事故等により配慮が必要となった者は、その時点で速やかに相談してください。

- (1) 志願者の氏名，住所，連絡先電話番号
- (2) 志望コース
- (3) 出身大学，学部，学科等
- (4) 障がいの種類・程度
- (5) 受験上特別な配慮を希望する配慮
- (6) 修学上特別な配慮を希望する配慮
- (7) 出身大学等でとられていた修学上及び生活上等の措置
- (8) 日常生活の状況

9. 合格発表

第1回 令和8年 9月 3日(木) 11時

第2回 令和8年12月24日(木) 11時

本学ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに，本人あて「合格通知書」を郵送します。(https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/)

なお，電話等による照会には一切応じません。

10. その他

大規模災害等の不測の事態により入学試験の予定通りの実施が困難な場合，又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は，試験時間の短縮や試験日時，入試方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合，対応を本学ホームページでお知らせしますので，出願及び受験の直前には特に注意してください。

コース	日時	科目等		配点	
機械宇宙工 学コース	9:00～11:00	数学	線形代数, 微積分, 常微分方程式, ベクトル解析, フーリエ解析, 複素関数	200	
	12:30～14:30	機械物理	機械工学で使用する基礎物理 (質点系, 剛体, 弾性体, 振動, 流体, 熱)	200	
	15:00～	面接		合・否	
			出願書類	英語 (TOEIC スコア)	200
				その他の出願書類	可・否
合計				600	
情報エレク トロニクス コース	9:00～11:00	数学	微分積分, 線形代数	200	
	14:00～	面接		100	
			出願書類	英語 (TOEIC スコア)	100
				その他の出願書類	可・否
合計				400	
化学バイオ コース	9:00～12:00	専門 ※専門科目は志願票で選択してください。出願後の変更は認められません。	有機化学・分析化学, 無機化学・物理化学, 微生物学・分子生物学, 生化学・構造生物学 (関数電卓を持参してください。)	2科目選択 300×2	
	14:00～	面接		100	
			出願書類	英語 (TOEIC スコア)	200
				その他の出願書類	可・否
合計				900	
社会システム 土木コース	9:00～11:00	専門	土木工学 (構造力学・コンクリート構造学・水理学・土質力学), 社会経営工学 (経営科学・環境工学・防災工学・地域都市計画・経済学) (関数電卓を持参してください。)	1科目選択 200	
	12:30～14:00	数学		100	
	15:00～	面接		100	
			出願書類	英語 (TOEIC スコア)	100
				その他の出願書類	可・否
合計				500	

Ⅲ. 飛び級入試

「大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（飛び級）」の入学者選抜試験

1. 出願資格

次のすべてに該当する者（志望のコースと関連のある教育課程を履修したものが望ましい）。ただし、事前に以下の各要件についてその資格の審査を行います。

- (1) 令和9年3月31日において、大学における在学期間が3年以上の者、又は外国において、学校教育における15年の課程を修了した者
 - (2) 令和9年3月31日において、卒業要件単位数（卒業研究及び4年次開講科目を除く。）を修得見込みの者
 - (3) 学業成績が極めて優秀であると本研究科が認めた者
- (注) 上記(3)の詳細については、工学部教務係にお問い合わせください。（裏表紙に記載の問い合わせ先参照）

2. 志望方法

志望は、いずれか一つのコースに限ります。

志望するコースを入学志願票の志望コース欄に記入してください。

なお、出願にあたっては、事前に指導希望教員と相談のうえ出願してください。

※志望コースについては、24ページを参照してください。

3. 出願手続

- (1) 出願資格審査申請期間

令和8年 9月28日(月)から9月30日(水)まで（必着）

受付時間は、9時から17時まで

- (2) 出願期間

令和8年10月26日(月)から10月29日(木)まで（必着）

受付時間は、9時から17時まで

- (3) 出願書類提出先

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部教務係

- (4) 出願方法

事前に出願資格審査を行いますので、入学志願者は、次の(5)の①～⑩の出願書類等を持参又は郵送により提出してください。ただし、郵送の場合は「書留」とし、封筒の表に「大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻出願書類等在中（飛び級）」と朱書してください。

なお、審査結果は令和8年10月16日(金)に通知しますので、審査に合格した者は令和8年10月19日(月)から10月29日(木)までの間に⑩の検定料30,000円を振り込みのうえ、⑫の振替払込受付証明書貼付票を提出してください。

- (5) 出願書類等(※出願書類受付後の記載事項の変更は認めません。ただし、⑥TOEIC®スコア証明書は除く。)

①志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
②写真票, 受験票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 写真(上三分身・無帽・正面向き・無背景・カラーで、出願前3か月以内に撮影したもの)を写真票及び受験票の所定の位置に貼り付けてください。<写真の大きさ:縦4cm×横3cm>
③志望理由書	本研究科を志望した動機、入学後の研究計画及び本研究科修了後の将来の抱負を記載したもの(A4判2枚程度で任意様式)。
④成績証明書	在籍大学等の長などが作成し、厳封したもの。 ただし、鳥取大学工学部の在学学生は提出不要です。
⑤在学証明書	在籍大学等が作成したもの。 ただし、鳥取大学工学部の在学学生は提出不要です。
⑥TOEIC®スコア証明書 (原本またはデジタル公式認定証) ・TOEIC®-公開テスト ・TOEIC®-IP (カレッジTOEIC®を含む)	出願開始日から遡って、3年以内に受験したもの。 (TOEIC®スコア証明書の原本は書類確認後返却します。) *出願書類提出後、TOEIC®スコア証明書の差し替えを希望する者は、第1番目の試験科目の直前に限り試験室にて提出(差し替え)することを認めます。スコア証明書の原本は面接時に返却します。 *TOEIC®デジタル公式認定証はPDFデータをプリントアウトしたものを提出してください。
⑦履修の手引	在籍大学等の授業内容一覧を含んだもの。 ただし、本学在学学生は提出不要です。
⑧受験票等返送用封筒	郵便切手410円(速達料を含む。)を貼った長形3号封筒に、住所、氏名、郵便番号を明記してください。
⑨住所シール	住所シールに合格通知書及び入学手続き書類を受け取る郵便番号、住所、氏名を記入してください。
⑩住民票等 (外国人志願者のみ)	日本に在住する外国人志願者は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し(両面)等、在留資格が記載されたものを、その他の外国人志願者はパスポートの写しを提出してください。

出願資格審査に合格した者は、下記⑪により検定料を振り込みのうえ、⑫の検定料振込済証明書貼付票を提出してください。

⑪検定料	30,000円 本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口又は郵便局(ゆうちょ銀行)窓口で振込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。(ATMは利用しないでください。また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。) 「振替払込請求書兼受領証」は領収書となりますので、大切に保管しておいてください。 ※検定料は、令和8年10月19日(月)~10月29日(木)までの期間に振り込みをしてください。 なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (ア) 検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった)場合 (イ) 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合 (ウ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合 上記(ア)~(ウ)に該当する場合は、必ず工学部教務係(TEL
------	--

	0857-31-5186)へ連絡してください。返還の際には、「振替払込受付証明書」又は「振替払込請求書兼受領証」が必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。(返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。)
⑫振替払込受付証明書貼付票	検定料を本学所定の振込用紙で振り込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。

注：TOEIC®スコア証明書を紛失した場合

受験後2年以内であれば再交付が可能です。再交付についての詳細は、TOEIC運営委員会に直接問い合わせるか、TOEIC公式HPを参照してください。鳥取大学の学生で、鳥取大学主催（TOEIC®-IP）のTOEIC®スコア証明書の再交付については、学生部教育支援課教務企画係（TEL 0857-31-5054）に、鳥取大学生生活協同組合主催（カレッジTOEIC®）のTOEIC®スコア証明書の再交付については、鳥取大学生生活協同組合（TEL 0857-28-2333）に問い合わせてください。

なお、TOEIC®スコア証明書の再交付には、申請から約2週間かかりますので注意してください。

4. 入試方法

入学者の選抜は、出願書類、学力検査及び面接の結果を総合して判定します。学力検査及び面接については、一般入試と同じです。10ページを参照してください。

5. 試験日及び試験場

試験日 令和8年12月10日（木）

試験場 〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部
試験室等については、試験前日午後3時から工学部正面玄関に掲示します。

6. 受験にあたっての留意事項

- (1) 試験当日、受験者は試験開始15分前までに試験室に入室してください。
- (2) 試験開始時刻に遅れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- (3) 試験当日、受験者は受験票を必ず持参し、試験の際には机の上に置いてください。なお、受験票を忘れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。
- (4) 試験開始から終了までの間は退出を認めません。試験中の発病又は用便等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- (5) 試験科目（面接を含む。）のうち1科目でも受験しなかった者は、選考対象になりません。
- (6) 机の上には、受験票のほか、黒鉛筆（シャープペン可）、鉛筆キャップ、消しゴム、定規、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、関数電卓（化学バイオコース及び社会システム土木コースの試験で、関数電卓を持参することになっている科目の受験時のみ）以外の携行品を置くことは出来ません。
- (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチ・スマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は、試験時間中に使用してはいけません。試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておかばん等にしまっておいてください。試験時間中に身に付けていたり、手に持っていると不正行為となることがあります。
- (8) 試験場の下見では、建物内への立ち入りを禁止します。

(9) 本学は、構内全面禁煙です。

(10) 本入試により入学した者の学部学生としての学籍上の身分は、「退学」となります。従って、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部を卒業していることを要件としているものについては、受験資格がないことになります。

7. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のために、受験上及び修学上配慮を希望する者は、令和8年10月16日（金）までに、次の事項を記載した文書（様式自由）に医師の診断書又は障害者手帳の写しを添えて、鳥取大学工学部教務係へ提出してください。

なお、本研究科が必要と認めた場合には、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る者等との面談等を行います。また、上記期限後に、不慮の事故等により配慮が必要となった者は、その時点で速やかに相談してください。

- (1) 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号
- (2) 志望コース
- (3) 出身大学、学部、学科等
- (4) 障がいの種類・程度
- (5) 受験上特別な配慮を希望する配慮
- (6) 修学上特別な配慮を希望する配慮
- (7) 出身大学等でとられていた修学上及び生活上等の措置
- (8) 日常生活の状況

8. 合格発表

令和9年 3月 4日（木） 11時

本学ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、本人あて「合格通知書」を郵送します。（<https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>）

なお、電話等による照会には一切応じません。

※ 入学試験の合否の結果について、令和8年12月24日（木）に試験結果通知書を郵送（本学学生の場合は交付）します。なお、入学試験に合格した後に、在学期間・単位修得・学業成績等の条件を満たすことができなかった場合は、合格を取り消します。

9. その他

大規模災害等の不測の事態により入学試験の予定通りの実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は、試験時間の短縮や試験日時、入試方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合、対応を本学ホームページでお知らせしますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。

令和9年度
鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻入学者選抜試験
(一般入試・飛び級入試)

入 学 志 願 票

	受験番号	※
志望コース	コース	志望指導教員名
選択科目	化学バイオコースを志望する受験生のみ 次の専門科目1～4から2つ選択し、数字を○で囲んでください。※出願後の変更は認められません。 1.有機化学・分析化学, 2.無機化学・物理化学, 3.微生物学・分子生物学, 4.生化学・構造生物学	
フリガナ		
氏名	鳥取大学学生番号 (本学在学生のみのみ)	
生年 月日	年 月 日生	性別 男 ・ 女
出願資格	国立 公立 私立 大学 学部 学科 短期大学 高等専門学校 専攻 年 月 卒業 ・ 卒業見込 ・ 修了 ・ 修了見込	
連絡先	〒 — 携帯電話 — — 電話 — —	
履歴書		
年 月	高等学校卒業	
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

- 注 1. 記入にあたっては、必ずインク又はボールペン（黒又は青）を使用してください。
2. ※印の欄を除きすべて記入し、該当事項を○で囲んでください。
3. 履歴は、高等学校卒業から現在（卒業見込み等）までを空白期間が無いように記入してください。なお、記入欄が不足する場合は、適宜別様に記載してください。
(自宅学習・予備校等も、もれなく記入してください。)

令和9年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 **写真票**
(一般入試・飛び級入試)

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
志望コース	コース

上三分身・無帽・正面向
き・無背景・カラー
出願3か月以内に撮影→

写真貼付 4 cm × 3 cm

令和9年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 **受験票**
(一般入試・飛び級入試)

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
志望コース	コース

写真票と同一のもの→

写真貼付 4 cm × 3 cm

* 志望コースについてはコース一覧参照

(切り離さないでください)

令和9年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 (一般入試・飛び級入試)

振替払込受付証明書貼付票

- ◎日付印のある「振替払込受付証明書」を貼り付けてください。
(本人保管の「振替払込請求書兼受領証」は貼り付けないでください。)
- ・必ず銀行又は郵便局(ゆうちょ銀行)窓口で振り込んでください。
(ATMは利用しないでください)
 - ・「振替払込受付証明書」に日付印が無い場合は無効です。

IV. 社会人特別入試

近代の科学技術の急速な進展に伴う社会的要請に応えるため、各種の研究機関、教育機関、企業等において活躍中の社会人に対して、高度の研究能力の涵養や新しい学問分野についての知識、技術の修得の機会を提供することは、大学と社会の交流を深める上で極めて有意義であるとともに、大学にとっても教育研究機能の活性化を図る機縁となります。

本大学院では、このような趣旨から、社会人に対して、一般の入試方法とは異なる方法により入学者の選抜を実施します。

この入試により入学した者に対しては、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育を実施します。

通常の教育方法では、企業等に活躍中の社会人研究者・技術者が博士前期課程で学ぶ場合、2年間完全に勤務を離れ学業に専念することになりますが、このような就学条件を満たすことは一般に困難です。したがって、このような社会人学生に対しては、大学院設置基準第14条に「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」と規定されているので、この制度を利用した教育方法の特例を実施するものです。

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法第104条第7項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
 - (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者及び令和9年3月31日までに22歳に達するもの
- (注) 出願資格(9)で出願する者は22ページ、(10)で出願する者は21ページを参照してください。

(注) 出願にあたっては、あらかじめ工学部教務係に必ずお問い合わせください。(裏表紙に記載の問い合わせ先参照)

2. 出願要件

社会人特別入試に出願することのできる者は、上記1の出願資格のいずれかに該当し、さらに次に該当する者とします。

- (1) 各種の研究機関、教育機関、企業等に職員として勤務している研究者又は技術者で勤務先の所属長又はこれに準ずる者の推薦を受けた者
- (2) 原則として入学後も研究機関、教育機関、企業等の身分を有する者

3. 志望方法

志望は、いずれか一つのコースに限ります。

志望するコースを入学志願票の志望コース欄に記入してください。

なお、出願にあたっては、事前に指導希望教員と相談のうえ出願してください。

※志望コースについては、24ページを参照してください。

4. 出願手続

(1) 出願期間

第1回 令和8年 7月21日(火)から 7月24日(金)まで (必着)

第2回 令和8年10月26日(月)から10月29日(木)まで (必着)

受付時間は、9時から17時まで

(2) 出願書類提出先

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部教務係

(3) 出願方法

入学志願者は、次の(4)の出願書類等を持参又は郵送により提出してください。

なお、郵送の場合は「書留」とし、封筒の表に「大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻出願書類等在中」と朱書してください。(期間内必着)

(4) 出願書類等 (※ 出願書類受付後の記載事項の変更は認めません。)

①志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
②写真票, 受験票, 振替払込受付証明書貼付票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 写真(上三分身(おおむね胸から上)・無帽・正面向き・無背景・カラーで、出願前3か月以内に撮影したもの)を写真票及び受験票の所定の位置に貼り付けてください。 <写真の大きさ:縦4cm×横3cm> 検定料を本学所定の振込用紙で振り込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。
③志望理由書	本研究科を志望した動機並びに入学後の研究計画を踏まえた本研究科修了後の将来の抱負を記載したもの(A4判2枚程度で任意様式)。
④卒業証明書	出身大学等が作成したもの。
⑤学士の学位授与証明書	出願資格(2)に該当する志願者で、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。
⑥成績証明書	出身大学等が作成し、厳封したもの。
⑦推薦書	本学所定の用紙に記入してください。
⑧職務経歴書	本学所定の用紙に記入してください。
⑨研究計画書	本学所定の用紙に記入してください。
⑩在職証明書	各種の研究機関、教育機関、企業等に勤務している者で、入学後も職員の身分を有する者は、勤務先が作成したものを提出してください。なお、出願時に提出できない場合は、工学部教務係に連絡の上、試験日までに必ず提出してください。(様式任意)
⑪受験票等返送用封筒	郵便切手410円(速達料を含む。)を貼った長形3号封筒に、住

	所、氏名、郵便番号を明記してください。
⑫住所シール	住所シールに合格通知書及び入学手続き書類を受け取る郵便番号、住所、氏名を記入してください。
⑬住民票等 (外国人志願者のみ)	日本に在住する外国人志願者は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し(両面)等、在留資格が記載されたものを、その他の外国人志願者はパスポートの写しを提出してください。
⑭検定料	<p>30,000円</p> <p>本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口又は郵便局(ゆうちょ銀行)窓口で振込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。(ATMは利用しないでください。また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。)</p> <p>「振替払込請求書兼受領証」は領収書となりますので、大切に保管しておいてください。</p> <p>※検定料は、第1回入学試験を志願する者は令和8年7月10日(金)～7月24日(金)までに、第2回入学試験を志願する者は令和8年10月19日(月)～10月29日(木)までの期間に振り込みをしてください。</p> <p>なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>(ア) 検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった)場合</p> <p>(イ) 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合</p> <p>(ウ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>上記(ア)～(ウ)に該当する場合は、必ず工学部教務係(TEL 0857-31-5186)へ連絡してください。返還の際には、「振替払込受付証明書」又は「振替払込請求書兼受領証」が必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。(返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。)</p>

5. 入試方法

入学者の選抜は、出願書類及び面接の結果を総合して判定します。

6. 試験日時及び試験場

試験日 第1回 令和8年 8月19日(水)

第2回 令和8年12月10日(木)

試験場 〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部

試験室等については、試験前日午後3時から工学部正面玄関に掲示します。

日程

コース	日時	科目等	備考
機械宇宙工学コース	11:00～	面接	
情報エレクトロニクスコース	14:00～	面接	
化学バイオコース	14:00～	面接	
社会システム土木コース	14:00～	面接	

7. 受験にあたっての留意事項

- (1) 試験当日、受験者は試験開始15分前までに試験室に入室してください。
- (2) 試験開始時刻に遅れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- (3) 試験当日、受験者は受験票を必ず持参し、試験の際には机上に置いてください。
なお、受験票を忘れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。
- (4) 試験開始から終了までの間は退出を認めません。試験中の発病又は用便等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- (5) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチ・スマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は、試験時間中に使用してはいけません。試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っつかばん等にしまっておいてください。試験時間中に身に付けていたり、手に持っていることが不正行為となることがあります。
- (6) 試験場の下見では、建物内への立ち入りを禁止します。
- (7) 本学は、構内全面禁煙です。

8. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のために、受験上及び修学上配慮を希望する者は、第1回は令和8年7月3日（金）までに、第2回は令和8年10月16日（金）までに、次の事項を記載した文書（様式自由）に医師の診断書又は障害者手帳の写しを添えて、鳥取大学工学部教務係へ提出してください。

なお、本研究科が必要と認めた場合には、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る者等との面談等を行います。また、上記期限後に、不慮の事故等により配慮が必要となった者は、その時点で速やかに相談してください。

- (1) 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号
- (2) 志望コース
- (3) 出身大学、学部、学科等
- (4) 障がいの種類・程度
- (5) 受験上特別な配慮を希望する配慮
- (6) 修学上特別な配慮を希望する配慮
- (7) 出身大学等でとられていた修学上及び生活上等の措置
- (8) 日常生活の状況

9. 合格発表

第1回 令和8年 9月 3日（木）11時

第2回 令和8年12月24日（木）11時

本学ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、本人あて「合格通知書」を郵送します。（<https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>）

なお、電話等による照会には一切応じません。

10. その他

大規模災害等の不測の事態により入学試験の予定通りの実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は、試験時間の短縮や試験日時、入試方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合、対応を本学ホームページでお知らせしますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。

令和9年度
鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻入学者選抜試験
(社会人特別入試)

入 学 志 願 票

	受験番号	※
志望コース	コース	志望指導教員名
フリガナ		鳥取大学学生番号 (本学在学生のみのみ)
氏名		
生年 月日	年 月 日生	性別 男 ・ 女
出願資格	国立 公立 私立 大学 学部 学科 短期大学 高等専門学校 専攻 年 月 卒業 ・ 卒業見込 ・ 修了 ・ 修了見込	
連絡先	〒 — 携帯電話 — — 電話 — —	
履歴書		
年 月	高等学校卒業	
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

- 注 1. 記入にあたっては、必ずインク又はボールペン（黒又は青）を使用してください。
2. ※印の欄を除きすべて記入し、該当事項を○で囲んでください。
3. 履歴は、高等学校卒業から現在（卒業見込み等）までを空白期間が無いように記入してください。なお、記入欄が不足する場合は、適宜別様に記載してください。
(自宅学習・予備校等も、もれなく記入してください。)

令和9年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 **写真票**
(社会人特別入試)

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
志望コース	コース

上三分身・無帽・正面向
き・無背景・カラー
出願3か月以内に撮影→

写真貼付 4 cm × 3 cm

令和9年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 **受験票**
(社会人特別入試)

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
志望コース	コース

写真票と同一のもの→

写真貼付 4 cm × 3 cm

*志望コースについてはコース一覧参照

(切り離さないでください)

令和9年度鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科博士前期課程
工学専攻入学者選抜試験 (社会人特別入試)

振替払込受付証明書貼付票

- ◎日付印のある「振替払込受付証明書」を貼り付けてください。
(本人保管の「振替払込請求書兼受領証」は貼り付けしないでください。)
- ・必ず銀行又は郵便局(ゆうちょ銀行)窓口で振り込んでください。
(ATMは利用しないでください)
 - ・「振替払込受付証明書」に日付印が無い場合は無効です。

〔社会人特別入試〕

推 薦 書

年 月 日

鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科長 殿

推薦者（所属・職名）

（氏 名） _____ 印

志願者氏名	
-------	--

志願者の業務年限・内容，将来の希望及び素質・人物等について記入してください。（記入後は厳封願います。）

（注） 推薦書の記入者は，勤務先の所属長又はこれに準ずる者で，本人を熟知し，職場において指導的立場にある者であること。

職務経歴書

年 月 日

所属機関
(会社名等)
氏 名

印

職 歴	在職期間	勤務先	主な職務内容
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		

研究計画に関する過去の職務内容（1,000字以内）

研究業績等（論文、口頭などの発表があれば、その題名、発表機関、発表年月などを記入）

〔社会人特別入試〕

研 究 計 画 書

年 月 日

所属機関
(会社名等)
氏 名

印

研究課題	
研究計画の概要（1,000字以内）	

(注) 作成にあたっては、指導を希望する教員と相談のうえ記入してください。

V. 入学手続等

1. 入学手続

入学手続の方法等詳細については、令和9年2月中旬に合格者あて通知します。

(1) 入学料 282,000 円 (予定額)

・納入方法については、合格者あて通知します。

(2) 授業料 年額 535,800 円 [前期分 267,900 円 後期分 267,900 円] (予定額)

・納入時期は、前期は5月、後期は11月です。

・納入方法については、合格者あて通知します。

(注)ア 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ 入学料、授業料の免除 (又は徴収猶予) を希望する場合は、入学手続時に納入しないでください。

ウ 入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料、授業料を納入していただくことになります。

2. 入学料免除 (徴収猶予) 及び授業料免除について

次のいずれかの条件に該当し、入学料又は授業料の納入が著しく困難と認められる場合は、本人の事前申請に基づき選考の上、入学料又は授業料が免除 (全額又は半額) される制度があります。

(1) 経済的理由によって入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

(2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

(3) (2)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

詳細については、学生部学生生活課奨学係 (TEL (0857) 31-5059・6776) へお問い合わせください。

3. 国の教育ローン (日本政策金融公庫)

本学に入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

学生1人につき350万円以内を固定金利で利用でき、在学期間内は利息のみの返済とすることができます。

詳細については、日本政策金融公庫教育ローンコールセンター (0570-008656 (ナビダイヤル)) へお問い合わせください。

4. 奨学金制度について

独立行政法人日本学生支援機構等において、人物・学業とも優れ、かつ、健康であって、経済的理由により修学が著しく困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、奨学金を貸与し、修学を援助する制度があります。

詳細については、学生部学生生活課奨学係 (TEL (0857) 31-5059・6776) へお問い合わせください。

5. 学生教育研究災害傷害保険制度

本学では入学後に大学生活を安心して過ごせるよう、学生教育研究災害傷害保険制度へ全員加入としています。保険料は2年間で1,750円です。民間の保険制度に比べてかなり安価な掛け金で傷害にあった際には補償されます。

詳細については、保健管理センター (TEL (0857) 31-5065) へお問い合わせください。

(注) この保険は、正課中、課外活動中又は大学構内あるいは通学途中に被った不慮の事故で死亡、負傷した場合に支払われる傷害保険です。

6. 長期履修制度について

この制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年間）を超えて一定の期間（最長4年間）にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することができるものです。

また、授業料は、3年間（又は4年間）で履修する場合は、2年間分を3年間（又は4年間）に分割して納めることになります。

なお、長期履修制度の適用を希望する者は、入学手続き時に鳥取大学工学部教務係に申請してください。

VI. 出願資格審査

「本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で22歳に達した者及び令和9年3月31日までに22歳に達する者」の出願資格審査について

一般入試の「1. 出願資格の(10)」又は、社会人特別入試の「1. 出願資格の(10)」に該当する者の出願資格審査は、次のとおり行います。

- (1) 上記に該当する者とは、次の①又は②を満たす者とします。
- ① 短期大学、高等専門学校を卒業し、科学・技術関係分野における業務経験を2年以上有する者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ② 短期大学、高等専門学校を卒業し、著書、学術論文、学術講演、学術報告及び特許等において学士卒業論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者
- (2) 上記(1)に該当する志願者は、それぞれ下記の期間に工学部教務係へ次の①～④の書類を持参又は郵送により提出してください。
- なお、郵送の場合は「書留」とし、封筒の表に「大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。
- 第1回（一般入試，社会人特別入試）の審査の結果は，令和8年6月16日（火），第2回（一般入試，社会人特別入試）の審査結果は，令和8年10月20日（火）に本人あてに郵送します。
- ◎出願資格審査書類受付期間
- 第1回 令和8年 5月19日(火)から5月22日(金)まで（必着）
 - 第2回 令和8年 9月28日(月)から9月30日(水)まで（必着）
- 受付時間は，9時から17時まで
- ① 入学試験出願資格審査調書(様式1)
 - ② 研究業績調書（様式2）（論文等がある場合は，別刷等を添付してください。）
 - ③ 短期大学又は高等専門学校の「卒業証明書」及び「成績証明書」
 - ④ 返信用封筒（郵便切手410円（速達料を含む。）を貼った長形3号封筒に，住所，氏名，郵便番号を明記したもの
- (3) 出願資格審査の結果，出願資格を満たす者と認定された場合は，一般入試にあつては6ページの「4. 出願手続」，社会人特別入試にあつては16ページの「4. 出願手続」により，所定の手続を行ってください。

令和 9 年度
鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻
入 学 試 験 出 願 資 格 審 査 調 書

フリガナ					
氏 名		現 職		志 望 コース	コース
		現住所			
生年月日	年 月 日				
学 歴					
年 月 日	事 項				
				
				
				
				
				
				
職 歴					
年 月 日	事 項				
				
				
				
				
				
				
学会及び社会における活動等					
年 月 日	事 項				
				
				
				
				
				
本書の記載事項に相違ないことを証明する。 年 月 日 所在地 機 関 名 所属長名 印					

(注) 学歴は高校卒業以降をもれなく記入してください。

「学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者」の出願資格審査について

一般入試の「1. 出願資格の(9)」又は、社会人特別入試の「1. 出願資格の(9)」に該当する者の出願資格審査は、次のとおり行います。

(1) 上記に該当する者とは、他大学院へ飛び入学した学生で本研究科への受験を希望する者

(2) 上記(1)に該当する志願者は、それぞれ下記の期間に工学部教務係へ次の①～④の書類を持参又は郵送により提出してください。

なお、郵送の場合は「書留」とし、封筒の表に「大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。

第1回（一般入試，社会人特別入試）の審査の結果は，令和8年6月16日（火），第2回（一般入試，社会人特別入試）の審査結果は，令和8年10月20日（火）に本人あてに郵送します。

◎出願資格審査書類受付期間

第1回 令和8年 5月19日(火)から5月22日(金)まで (必着)

第2回 令和8年 9月28日(月)から9月30日(水)まで (必着)

受付時間は，9時から17時まで

- ① 入学試験出願資格審査調書（様式3）
- ② 大学院の在学証明書又は修了証明書
- ③ 在学していた大学の成績証明書
- ④ 返信用封筒（郵便切手410円（速達料を含む。）を貼った長形3号封筒に，住所，氏名，郵便番号を明記したもの）

(3) 出願資格審査の結果，出願資格を満たす者と認定された場合は，一般入試にあつては6ページの「4. 出願手続」，社会人特別入試にあつては16ページの「4. 出願手続」により，所定の手続を行ってください。

Ⅶ. 入学者の受入れの方針

【持続性社会創生科学研究科】

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程では、次のような人を広く受け入れます。

1. 地域学、工学、農学または国際乾燥地科学に関する学士課程の専門知識・技術等を身につけている人
2. 持続性社会の創生に対する地球規模の課題と地域の課題に関して、幅広い視野と深い知識の修得を志す人
3. 高い倫理観を身につけて、持続性社会の創生と発展に他者と共同して貢献することを志す人
4. 持続性社会を創生するために、それぞれの専門性を生かし、他分野との連携を図るコミュニケーション力を身につけようとする人

各専攻等では、これらの人を受け入れるため、多角的かつ総合的な評価による入試の機会を設けます。

【工学専攻（博士前期課程）】

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科工学専攻では、次のような人を広く受け入れま

す。

1. 機械宇宙工学、情報エレクトロニクス、化学バイオまたは社会システム土木に関する学士課程相当の専門知識・技術等を身につけている人
2. 工学分野の多様化するニーズに対応できる知識・技術を学び、研究活動を通じて両者を調和させて一体化することのできる広い視野と深い学識を身につけた技術者・研究者を目指す人
3. 高い倫理観を身につけて、持続性社会の創造と発展に貢献する高度の専門性を有する技術者・研究者を目指す人
4. 持続性社会を創生する工学の問題に挑み、対処するための高度な課題発見・解決力とコミュニケーション力を身につけようとする人

工学専攻ではこれらの人を受け入れるため、一般入試、推薦入試、社会人特別入試などにより、多角的かつ総合的な評価による選考を行います。

VIII. コース一覧

○機械宇宙工学コース

機械宇宙工学コースでは、工学分野の多様なニーズに対応できる人材として、機械工学のみならず、航空宇宙、材料、電子、情報、環境などの様々な工学分野において、既存の枠にとらわれずに学際的な見地から技術開発を進めることができる高度な技術者及び研究者を養成する。さらに、高度な専門知識を修得させるとともに独創性のある研究に従事させることにより、主体的に問題解決に向けてリーダーシップを発揮できる人材を育成することを目的とするとともに、具体的には以下の教育目標を実施する。

- 1 幅広い機械工学の基礎知識や、宇宙工学のような様々な先端的かつ学際的工学分野の礎となる応用数学、力学、物理学などの基礎知識に裏付けられた、より高度な専門知識を身につける。
- 2 自然環境と人間社会の調和を考え、柔軟な発想と洞察力によって、大局的な観点から問題点を把握し、リーダーシップを発揮して、組織的に問題を解決できる力を身につける。

○情報エレクトロニクスコース

20世紀に発明された携帯電話、インターネット、ロボットなどが、21世紀に入り、身近なものとなっている。これは、小型化、高速化、高機能化に代表される情報エレクトロニクス分野における技術の進歩によるものである。この分野は、マイクロエレクトロニクス、コンピュータ、人工知能、医療エレクトロニクス、オプトエレクトロニクスなど、多岐にわたっている。これらは独立に発展しているのではなく、互いに深く関連しており、将来のわが国の高度電子情報社会を支える基盤技術となるものである。各専門分野は更なる進展とともに、総合化による進展が望まれており、加えて、従来以上に数学や物理学のような基礎的科目の深い理解も必要となってきている。

このような社会的な要請に応えるため、基礎から応用に渡る研究と教育を行うと同時に、関連分野の広い見識を深め、独創的技術の開発と研究を担うことのできる人材を養成する。

○化学バイオコース

化学工業では、質的な優位性に主眼をおいて新たな工業価値の創造への動きが2つの方向で試みられている。1つは原子や分子のレベルで物質・材料を精密設計するマテリアルサイエンスであり、もう1つは生物を活用して物質生産をはかるバイオテクノロジーである。一般に学問上あるいは技術上の大きなブレークスルーは、2つの分野が結びついたときに起こることが多いといわれている。新技術創出の基礎となる大学院の研究、特に多くの学際領域をもつ化学においては、異なる分野との結びつきがますます重要になっている。最近、生体现象の機構の主要部分は、分子的相互作用による分子識別に由来するとされ、生命観と物質観との壁はなくなりつつあり、それとともに化学と生物学は融合しつつある。本専攻はこのような背景のもとに、化学と生物に基礎をおく物質変換・生産の分野を体系的にとらえ、従来の化学工業における基幹的技術はもちろんのこと、物質生産にかかわる微生物学や遺伝子工学の分野も入れた、新しい化学技術を担う人材を育成するための研究教育を行う。

○社会システム土木コース

社会基盤整備の目的は、各種の施設を計画・建設・維持管理して、豊かで文化的な社会環境を実現することにあるが、その基本的な考え方は、効率優先から環境との調和を重視する方向へと移りつつある。

博士前期課程（2年間）では、高度な専門知識・技術の教授と高度な教育研究により、社会資本の整備、安全で安心な地域の創造と活性化、さらには地球環境の保全に関する情報を社会システムの的に分析検討して、快適でかつ活力のある社会を創造するためのハードウェアとソフトウェアの方法論を追及し、これを幅広く実践して快適で豊かな社会を創造していく技術者・研究者を育成することを目的とする。

教育研究分野，担当教員及び研究テーマ*
Field of Education-Research, Supervisor and Research Theme*

※募集時点での予定であり，教員の異動等により変更になる場合があります。

※Subject to change due to personnel changes

■は@に置き換える。

The symbol of ■ should be replaced by @.

①機械宇宙工学コース Course of Mechanical and Aerospace Engineering

教育研究分野 Field of Education- Research	教員名・連絡先 Supervisor Place to Contact	研究テーマ Research Theme
材 料 M a t e r i a l s a n d M e c h a n i c s	固体力学 Solid Mechanics	<ul style="list-style-type: none"> ・金属材料の大変形域変形抵抗の計測とモデル化 ・塑性変形に伴う塑性誘起損傷のマルチスケール解析 ・マイクロ・ナノスケール損傷現象のイメージベース逆解析 ・放射光X線イメージングによる構造材料の変形破壊解析
		<ul style="list-style-type: none"> ・Forming of high-strength metal material ・Identification of post-necking plastic deformation behavior of metal materials ・Multi-scale analysis of plastic deformation induced damage expansion ・Image-base inverse analysis for micro/nano damaging behavior ・Deformation and fracture analysis of materials by synchrotron X-ray imaging
	材料工学 Materials Science and Engineering	<ul style="list-style-type: none"> ・高性能熱電変換材料の創製 ・3Dプリンタを駆使した革新的高強度・高延性チタン合金の開発 ・マルエージング鋼やステンレス鋼の積層造形 ・セラミックス基複合材料のIn-situ合成およびマルチ強化効果 ・セラミックス粒子強化アルミニウム基複合材料の合成および高強度化 ・高熱伝導率を有するアルミニウム/炭素系複合材料の開発 ・新規抗ウイルス粉体材料の創製および耐久性の向上
		<ul style="list-style-type: none"> ・Fabrication and characterization of thermoelectric materials ・Development of novel high-strength and high-ductility titanium alloys using additive manufacturing ・Additive manufacturing of maraging steels and stainless steels ・In-situ synthesis and multiple toughening of ceramic-matrix composites ・In-situ synthesis of ceramic-reinforced aluminum-matrix composites ・Extrusion of aluminum-carbon composites with high thermal conductivity ・Development of novel antiviral materials and improvement of their durability
デ ザ イ ン フ ア c t i n g a n d M a n u f a c t u r i n g	信頼性・設計工学 Reliability and Design Engineering	<ul style="list-style-type: none"> ・金属材料の疲労強度評価に関する研究 ・実験応力解析法に関する研究 ・歯車の高強度化に関する研究 ・交通流のモデル化に関する研究 ・交通渋滞緩和の方法論に関する研究
		<ul style="list-style-type: none"> ・Study on fatigue damage evaluation of metals ・Study on experimental stress analysis ・Study on improving strength of gear ・Study on modeling traffic flows ・Study on the methodology of easing traffic jams
	生産加工学 Manufacturing Engineering	<ul style="list-style-type: none"> ・金属切削加工 ・機械加工における熱放射温度計測 ・ターンミリングのモデル化 ・フライス切削のびびり安定性モデリング
		<ul style="list-style-type: none"> ・Metal cutting process ・Infrared temperature measurement in machining process ・Process modeling of turn-milling ・Modeling of chatter stability in milling operations
ロ ボ メ カ r h o a b t o r i c s a n d R o b o t i c s	機械力学・ メカトロニクス Mechanical Dynamics and Mechatronics	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害バイオメカニクスに関する研究 ・人体モデリング・生体材料を用いた力学実験 ・衝突解析
		<ul style="list-style-type: none"> ・Study on injury biomechanics ・Human body modeling and mechanical characterization of biological materials ・Crash simulation
		<ul style="list-style-type: none"> ・機械の振動・騒音低減に関する研究 ・機械装置の異常予兆検知技術の開発
		<ul style="list-style-type: none"> ・Study on vibration and noise reduction of machine ・Development of anomaly detection technique of machine
制御・ ロボティクス Control and Robotics	<ul style="list-style-type: none"> ・脚移動ロボットの高性能化に関する研究 ・宇宙機の機能設計と運動制御に関する研究 ・人の運動支援システムの開発に関する研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・Research on the high functionality of legged mobile robots ・Functional design and motion control of spacecraft ・Research on the development of human motion assistive systems

教育研究分野 Field of Education- Research		教員名・連絡先 Supervisor Place to Contact	研究テーマ Research Theme
熱流体 Thermofluid Dynamics	宇宙推進工学 Space Propulsion Engineering	葛山 浩 KATSURAYAMA, Hiroshi katsurayama@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・レーザー推進式ロケットのエネルギー変換過程の研究 ・レーザー爆轟波の超高速風洞への応用 ・電磁力を用いた大気圏突入用減速機の開発 ・Research on energy conversion process of laser propelled rockets ・Application of laser detonation waves to ultrafast wind tunnels ・Development of atmospheric entry decelerator using magnetohydrodynamic force
	流体工学 Fluid Engineering	松野 隆 MATSUNO, Takashi matsuno@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・大気突入宇宙機熱防衛システム開発 ・熱空力, アブレーション, 輻射, 表面熱化学反応 ・高温プロセスの数値シミュレーション ・航空機・輸送機器の空力解析と低抵抗化 ・プラズマアクチュエータを用いた流体制御に関する研究 ・流れの数値シミュレーションによる解析・開発 ・液体燃料の微粒化と噴霧燃焼に関する研究 ・噴霧および燃焼の計測法に関する研究 ・エンジンの燃焼解析と排気ガス低減に関する研究
		小田 哲也 ODA, Tetsuya odate@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Development of thermal protection system for space vehicles ・Aerothermodynamics, Ablation, radiation, and surface thermochemistry ・Simulation of High-Temperature Processes ・Aerodynamic drag reduction of Aircraft and Ground Vehicles ・Active flow control using plasma actuators ・Research of flow field by numerical simulations ・Research on liquid fuel atomization and spray combustion ・Developments of spray measurement technique ・Engine combustion analysis and emission reduction
数理学 Physical Mechanics	複雑系数理工学 Mathematical Engineering of Complex Systems	古川 勝 FURUKAWA, Masaru furukawa@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・磁場閉じ込め核融合プラズマの磁気流体力学 (MHD) 理論・シミュレーション ・ハミルトン力学理論に基づくプラズマ平衡・安定性解析 ・構造保存数値シミュレーション法 ・コロイド液体の統計物理 ・粉粒体ペーストの弾塑性モデル ・加振した浅水系の流れ
		大信田 文志 OOSHIDA, Takeshi ooshida@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Theory and simulation of magnetohydrodynamics for magnetically confined fusion plasmas ・Equilibrium and stability analysis of plasmas based on Hamiltonian dynamics theory ・Structure-preserving numerical simulation algorithms ・Statistical physics of colloidal liquids ・Elastoplastic modeling of granular pastes ・Flows in oscillated shallow water systems
	数理物質科学 Mathematical Material Science	灘 浩樹 NADA, Hiroki hnada@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・結晶形成機構のメタダイナミクス研究 ・非晶質構造や物質形状の機械学習研究 ・機能性分子による結晶形成制御機構 ・ソフトマター/液体の非平衡ダイナミクス ・ソフトクリスタルにおける相転移現象
		高江 恭平 TAKAE, Kyohei takea@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Metadynamics study on crystallization mechanisms ・Machine learning study on amorphous structures and material shapes ・Mechanism of crystallization control by functional molecules ・Nonequilibrium dynamics in soft matter and liquids ・Phase transition in soft crystals
計算理工学・ 物理計算工学 Electronic structure calculation/ Computational Physics and Engineering	榊原 寛史 SAKAKIBARA, Hirofumi sakakibara@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・第一原理バンド計算を用いた機能材料の性能シミュレーション ・性能シミュレーションのための多体模型の第一原理的導出 ・高精度及び高効率な多体計算手法の開発 ・第一原理計算に基づく強相関材料の設計 ・超伝導転移、励起子転移などの相転移の理論研究 ・薄膜及び超格子などの人工物質の設計 ・Performance simulations on functional materials using first-principles calculations ・First-principles derivation of many-body models used in performance simulations ・Development of highly accurate and efficient solver for many-body problems ・Design of correlated materials using first-principles calculations ・Theoretical investigation on transition such as superconducting or excitonic transition ・Design of artificial materials such as thin film and superlattice 	

教育研究分野 Field of Education- Research		教員名・連絡先 Supervisor Place to Contact	研究テーマ Research Theme
数理 応用 P h y s i c a l E n g i n e e r i n g	ナノシステム 解析学・ 分子流体力学 Nano Dynamics and Tribology/ Molecular Fluid Dynamic	松岡 広成 MATSUOKA, Hiroshige hiro■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・分子間／表面間相互作用の研究 ・液体／固体超薄膜の研究 ・トライボロジー現象の超高精度計測 ・分子気体／液体潤滑の研究 ・計算トライボロジーの研究 ・情報機器ハードウェアのダイナミクスに関する研究 ・希薄気体の流れの研究 <ul style="list-style-type: none"> ・Research on molecular interactions and surface interactions ・Research on ultra-thin liquid/solid films ・Ultra-high accuracy measurements of tribological phenomena ・Research on molecular gas/liquid-film lubrication ・Research on computational tribology ・Research on dynamics of information storage systems ・Research on rarefied gas flows
		土井 俊行 DOI, Toshiyuki doi■tottori-u.ac.jp	
		石川 功 ISHIKAWA, Takumi tishikawa■tottori-u.ac.jp	
生体システム 解析学 Bio and Fluid Mechanics	後藤 知伸 GOTO, Tomonobu goto■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・微細な流れの観察及び数値シミュレーション ・微生物の集団及び単独の運動 ・細菌の走化性の観察及び数値シミュレーション ・流体音の発生機構と低減技術 ・流れを伴う開口部の音響インピーダンス計測 <ul style="list-style-type: none"> ・Micro-flow analysis, observation and numerical simulation ・Collective and cellular level behavior of micro-organisms ・Observation and numerical simulation of bacterial chemotaxis ・Aeroacoustics, sound generation mechanism and noise reduction ・Acoustic impedance measurement of an aperture in the presence of mean flow 	
	中井 唱 NAKAI, Tonau nakai■tottori-u.ac.jp		
再生可能 エネルギー 工学 Renewable Energy Engineering	原 豊 HARA, Yutaka hara■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・先端技術風車の研究開発 ・風力タービンの数値流体力学解析 ・小形風車の最適配置に関する研究 <ul style="list-style-type: none"> ・Research and development of advanced technology of wind turbine ・Computational fluid dynamics of wind turbines ・Research on optimal layout of small wind turbines 	

② 情報エレクトロニクスコース Course of Information and Electronics

教育研究分野 Field of Education- Research	教員名・連絡先 Supervisor Place to Contact	研究テーマ Research Theme
知能制御工学 Intelligent Control	楠田 大輔 KUSHIDA, Daisuke kushida■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・生体信号に基づく感覚の定量化 ・画像処理に基づく行動評価システム ・意思決定モデリングと経験則の抽出 ・人に対するパワーアシスト制御システムの設計 ・移動ロボットの知的制御
	竹森 史暁 TAKEMORI, Fumiaki take■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Quantification of sensation based on biological signal ・Motion evaluation system based on image processing ・Decision-making modeling and extraction of empirical rules ・Control design of human power assist system ・Intelligent control for mobile robot
	吉川 宣一 YOSHIKAWA, Nobukazu nyoshi■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・光センシング・光計測 ・デジタルホログラフィ ・立体ディスプレイ ・散乱イメージング ・Optical sensing and measurement ・Digital holography ・3D display ・Imaging through scattering media
計算機工学 Computer Science and Technology	川村 尚生 KAWAMURA, Takao kawamura■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・分散システム ・社会情報システム ・エージェントシステム ・ネットワーク・情報セキュリティ
	高橋 健一 TAKAHASHI, Kenichi takahashi■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Distributed systems ・Social information systems ・Agent system ・Network and information security
	東野 正幸 HIGASHINO, Masayuki higashino■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・自然言語処理 ・情報検索・情報抽出 ・機械学習 ・Natural language processing ・Information retrieval, information extraction ・Machine learning
知識工学 Knowledge Engineering	吉村 和之 YOSHIMURA, Kazuyuki kazuyuki■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・非線形科学 ・非線形ダイナミクスを用いた情報処理
	清水 忠昭 SHIMIZU, Tadaaki tadaaki■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Nonlinear science ・Information processing using nonlinear dynamics
	木村 周平 KIMURA, Shuhei kimura■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・進化計算 ・バイオインフォマティクス ・自然言語処理における意味解析および感情推定 ・観光情報の応用
	徳久 雅人 TOKUHISA, Masato tokuhisa■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Evolutionary computation ・Bioinformatics ・Semantic and emotion analysis in natural language processing ・Information technology applications in tourism
	岩井 儀雄 IWAI, Yoshio iwai■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・計算インタラクション ・パターン認識 ・ヒューマンメディア処理 ・拡張現実感
	青木 工太 AOKI, Kota aoki.k■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Computational interaction ・Pattern recognition ・Human media processing ・Augmented reality
	西山 正志 NISHIYAMA, Masashi nishiyama■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・画像認識 ・映像解析 ・ヒューマンインタフェース ・Image recognition ・Video analysis ・Human interface

教育研究分野 Field of Education- Research	教員名・連絡先 Supervisor Place to Contact	研究テーマ Research Theme
電子情報制御 Information and Control Engineering	中川 匡夫 NAKAGAWA, Tadao nakagawa■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェアラブル機器の無線伝送および光無線伝送 ・生体センサの高精度化信号処理 ・高周波回路設計 ・Wireless communications and optical wireless communications for wearable devices ・High-precision signal processing for biomedical sensors ・Radio frequency circuit design
	笹岡 直人 SASAOKA, Naoto sasaoka■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・音声強調 ・デジタル無線通信方式 ・能動騒音制御 ・Speech enhancement ・Digital wireless communication system ・Active noise control
	近藤 克哉 KONDO, Katsuya kondo■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータビジョン ・バイオ画像解析・医用工学 ・計測制御システムの知能化 ・Computer vision ・Biomechanics analysis and medical engineering ・Development of smart measurement control system
電気電子 システム Electrical and Electronic Systems Engineering	大木 誠 OHKI, Makoto mohki■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・多数目的最適化アルゴリズム ・制約付き多数目的最適化アルゴリズム ・記号・数値混合の組合せ多目的最適化問題 ・Many-objective optimization algorithms ・Constrained many-objective optimization algorithms ・Multi-objective combinatorial optimization problems including symbols and numerics
	齋藤 健太郎 SAITO, Kentaro saitouken■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・無線通信システム ・IoTシステム ・ドローンの無線通信システムへの活用 ・Wireless communication systems ・IoT systems ・Application of drones to wireless communication systems
	三柴 数 MISHIBA, Kazu mishiba■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・画像処理 ・コンピュータテーショナルフォトグラフィ ・Image processing ・Computational photography

教育研究分野 Field of Education- Research	教員名・連絡先 Supervisor Place to Contact	研究テーマ Research Theme
電子物性 デバイス Electronic Materials and Device Engineering	市野 邦男 ICHINO, Kunio ichino■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・光デバイス・電力デバイス用ワイドバンドギャップ半導体の研究 ・高効率太陽電池の研究 ・高効率紫外・可視発光素子の研究 ・ Study on wide bandgap semiconductors for optical/power devices ・ Study on high-efficiency solar cells ・ Study on high-efficiency ultraviolet/visible light-emitting devices
	阿部 友紀 ABE, Tomoki abe■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイドギャップ化合物半導体の結晶成長に関する研究 ・青-紫外受光デバイス(アバランシェフォトダイオード)の開発 ・青-紫外光変調器の開発 ・高効率紫外発光デバイスの開発 ・ Study on crystal growth of wide bandgap semiconductors ・ Development of blue-ultraviolet optical detectors (avalanche photodiodes) ・ Development of blue-ultraviolet optical modulators ・ Development of high efficient ultraviolet light emitting devices
	李 相錫 LEE, Sang-Seok sslee■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオ/ケミカル/医療用MEMSデバイスの研究開発 ・IoT用センサとIoTシステムに関する研究 ・メタマテリアルの設計及び応用 ・RFMEMS及び高周波デバイスに関する研究 ・ MEMS devices for bio/chemical/medical applications ・ Sensors for IoT and IoT systems ・ Design and application of metamaterials ・ RFMEMS and RF devices
	松永 忠雄 MATSUNAGA , Tadao matsunaga■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・低侵襲医療MEMSデバイスの研究開発 ・極細径光ファイバMEMSセンサの研究開発 ・ロボット外科手術用マイクロセンサの研究開発 ・マイクロアクチュエータを用いた触覚ディスプレイの開発 ・非平面基板への微細加工技術の研究 ・ Development of minimally invasive medical devices utilizing microfabrication techniques (MEMS) ・ Development of ultra-thin fiber-optic MEMS sensor ・ Development of micro sensors for robotic surgery ・ Development of tactile display using micro actuators ・ Study on non-planar photofabrication techniques

③ 化学バイオコース Course of Chemistry and Biotechnology

教育研究分野 Field of Education- Research	教員名・連絡先 Supervisor Place to Contact	研究テーマ Research Theme
グリーン 触媒化学 Green Catalysis Chemistry	片田 直伸 KATADA, Naonobu katada■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼオライト及び固体酸触媒の原理と応用 ・重質油、メタン、バイオマス、廃プラスチックから有用物質への転換に資する触媒及びプロセス開発 ・機能性ナノ構造体の合成 ・水電解および二酸化炭素還元用電極触媒の開発 ・特性制御のためのオンデマンドなゼオライトの合成 ・二酸化炭素回収、有効利用および環境浄化に資する材料開発
	辻 悦司 TSUJI, Etsushi e-tsuji■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Principles and application of zeolites and solid acid catalysis ・Conversion of heavy oil components, methane, biomass and plastic waste into useful materials
	津野地 直 TSUNOJI, Nao tsunoji■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Synthesis of functional nanostructured materials ・Development of electrocatalysts for water electrolysis and CO2 reduction ・On-demand zeolite synthesis for property design ・Carbon capture and utilization, and environmental purification
無機元素化学 Main Group Element Chemistry	南条 真佐人 NANJO, Masato nanjo■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・14族元素を鍵とするイオン液体の合成と機能性デバイスの創成 ・機能性電子材料を指向した有機ケイ素および有機ゲルマニウム化合物の分子設計と開発 ・Synthesis of ionic liquids consisting of heavy group 14-elements and application to electrochemical devices ・Design and synthesis of functional organosilicon and organogermanium compounds, and development of electronic materials
応用電気化学 Applied Electrochemistry	薄井 洋行 USUI, Hiroyuki usui■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・リチウムおよびナトリウムおよびカリウム貯蔵性材料の創製とその二次電池への応用 ・全固体二次電池の開発 ・光電変換に基づく新規エネルギー貯蔵材料の開発 ・二次電池用電極の反応挙動解析
	道見 康弘 DOMI, Yasuhiro domi■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Synthesis of lithium, sodium, or potassium storage intermetallic compounds and their properties as anode materials in rechargeable batteries ・Development of all solid-state secondary batteries ・Development of energy storage materials based on photovoltaics ・Reaction behavior analysis of electrode in rechargeable batteries
分子集積化学 Molecular Self-assembly	松浦 和則 MATSUURA, Kazunori ma2ra-k■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・人工ウイルス構造の創製と応用 ・生体分子の自己組織化によるナノ構造体の構築 ・光応答性生体分子システムの創成 ・細胞骨格を利用した機能性材料の創製 ・Creation and application of artificial virus structures ・Construction of nanostructures by self-organization of biomolecules ・Creation of light-responsive biomolecular systems ・Creation of functional materials applying cytoskeletons
有機材料化学 Organic and Polymer Materials Chemistry	吾郷 万里子 AGO, Mariko mariko.ago■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・機能性ナノ粒子のハイスループット合成手法の開発 ・多孔性カーボン微粒子の光熱変換効果 ・未利用バイオマス資源を用いた機能性材料の開発 ・天然資源に由来する微粒子の紫外線遮断特性 ・ピッカリングエマルジョン安定化機構の解明とその応用展開 ・環境中のマイクロプラスチックの迅速分析法の開発 ・High-throughput synthesis for functional nanoparticles ・Photo-thermal conversion with porous carbon particles ・Sustainable development of functional materials from under-utilized biomass resources ・UV-blocking properties of nano-, micro-particles derived from natural polymers ・Mechanisms of stabilisation of Pickering emulsions and development of their applications. ・Development of a rapid analysis method for microplastics released into the environment.

教育研究分野 Field of Education- Research	教員名・連絡先 Supervisor Place to Contact	研究テーマ Research Theme
有機合成化学 Synthetic Organic Chemistry	野上 敏材 NOKAMI, Toshiki tnokami■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 分子糖質科学 有機電気化学 機能性イオン液体 Molecular Glycoscience Organic Electrochemistry Functional Ionic Liquids
無機材料化学 Inorganic Materials Chemistry	増井 敏行 MASUI, Toshiyuki masui■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 環境に優しい色材の合成と応用 新しい希土類蛍光体の設計 無機系紫外線遮断剤の開発 希土類を含有する不均一系触媒の調製 Synthesis and application of environment-friendly color materials Design of new phosphors based on rare earth compounds Development of inorganic sunscreens Preparation of heterogeneous catalysts containing rare earth elements
生物機能 開発工学 Biofunction Development Engineering	鈴木 宏和 SUZUKI, Hirokazu hirokazusuzuki■tottori- u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 微生物と海藻の新しい機能の発見と応用・開発と基礎研究 微生物と海藻の機能を利用する物質生産と環境保全への応用展開研究 微生物と海藻における生理活性物質の代謝と次世代炭素源の代謝に関わる酵素と遺伝子の解明 高変異性好熱菌を利用した酵素進化学 未利用海洋資源を用いた新規医療素材の開発 Discovery and application of novel functions of microorganisms and marine algae
	八木 寿梓 YAGI Hisashi yagi■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> Application and development of the functions of microorganisms and marine algae to the practical production of useful substances and the solutions of environmental problems Fundamental studies: enzymology, molecular genetics, and protein engineering of enzymes involved in the metabolisms of physiologically active substances and new generation carbon sources in microorganisms and marine algae Directed evolution approaches to enhance enzyme stability using error-prone thermophiles Development of new medical materials using unutilized marine resources
生体触媒工学 Biocatalyst Engineering	岡本 賢治 OKAMOTO, Kenji okamoto■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 担子菌由来の生理活性物質の単離と生産 担子菌由来の生理活性物質の作用機序の解明 担子菌によるリグノセルロース分解酵素, エタノールおよびキシリトールの生産 パスウェイエンジニアリングによる有用イソプレノイドの生産 高等植物・微細藻類由来イソプレノイド合成遺伝子の機能同定 微細藻類による有用物質生産
	原田 尚志 HARADA, Hisashi harada■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> Isolation and production of bioactive compounds from basidiomycetes Determining the mechanism of action of bioactive compounds from basidiomycetes Production of lignocellulose-degrading enzymes, ethanol and xylitol by basidiomycetes Pathway engineering for the production of functional isoprenoids Functional characterization of isoprenoid biosynthesis genes in higher plants and microalgae Production of useful materials by microalgae
蛋白質工学 Protein Engineering	溝端 知宏 MIZOBATA, Tomohiro mizobata■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> タンパク質, 酵素の構造と機能相関 タンパク質の構造形成 タンパク質の安定性とコンフォメーション変化 分子シャペロンとアミロイド線維凝集 細菌由来膜タンパク質の膜挿入反応 細菌タンパク質を標的とする抗菌剤の研究
	青木 英莉子 AOKI, Eriko eaoki■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> Structure and function of enzyme and protein Protein folding Protein stability and conformational change Molecular chaperone and protein fibrillogenesis (aggregation) Membrane insertion of bacterial membrane proteins Study of antibiotics targeting bacterial proteins
生物有機化学 Bioorganic Chemistry	花島 慎弥 HANASHIMA, Shinya hanashima■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 柔軟な構造を持つ生体有機分子: 相互作用と生命機能の解明 脂質膜に作用する有機分子: 開発と作用機構の解明 生体分子の有機合成 Flexible bioorganic molecules: Interactions and biological functions Organic molecules targeting lipid bilayers: Mechanistic insights and development Organic synthesis of biomolecules
構造生物学 Structural Biology	永野 真吾 NAGANO, Shingo snagano■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> 生理活性物質生合成系の構造生物学的研究 アナモックス菌の窒素化合物変換の分子基盤 動物による熱感知システムの構造生物学的研究 膜タンパク質の構造生物学的研究 ユビキチンシグナルの構造生物学
	日野 智也 HINO, Tomoya t_hino■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> Structural biology of natural products biosynthesis Molecular basis of nitrogen metabolism by anammox bacteria
	佐藤 裕介 SATO, Yusuke yusato■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> Structural biology of thermal sensation Structural biology of membrane proteins Structural biology of ubiquitin signaling

④ 社会システム土木コース Course of Social Systems and Civil Engineering

教育研究分野 Field of Education- Research	教員名・連絡先 Supervisor Place to Contact	研究テーマ Research Theme
構造・ コンクリート工学 Structural and Concrete Engineering	谷口 朋代 TANIGUCHI, Tomoyo t_tomoyo@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・土木構造物、機械構造物及び海洋構造物の構造設計 ・土木構造物、機械構造物及び建築構造物の耐震性能 ・土木構造物、機械構造物及び海洋構造物の維持管理 ・地盤・構造物の地震応答特性の評価 ・GIS及び人工衛星技術を用いた自然災害のハザード評価
	野口 竜也 NOGUCHI, Tatsuya noguchit@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Structural design of infra-, mechanical and offshore structures ・Earthquake-resistant performance of infra-, mechanical and building structures ・Maintenance of infra-, mechanical and offshore structures ・Earthquake response evaluation of subsurface and building structures ・Hazard assessment of natural disasters by GIS and satellite technology
	黒田 保 KURODA, Tamotsu tkuroda@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・産業副産物のコンクリートへの有効利用 ・コンクリートおよびコンクリート構造物の耐久性評価 ・コンクリートおよびコンクリート構造物の補修・補強 ・コンクリート構造物の劣化予測と維持管理
地盤・岩盤工学 Geotechnical and Rock Engineering	中村 公一 NAKAMURA, Koichi nak_x@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・飽和土および不飽和土の力学的性質 ・斜面防災とモニタリング
	小野 祐輔 ONO, Yusuke ysk@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤構造物の地震応答解析 ・地盤災害の数値シミュレーション ・斜面災害のハザード・リスク評価 ・粘土鉱物に着目した土・岩石の物性の解明 ・粘土鉱物を含有した材料による岩盤の力学特性の向上
	河野 勝宣 KOHNO, Masanori kohnom@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Earthquake response analysis of earth structures ・Numerical simulation of geohazards ・Hazard risk assessment for slope disaster ・Evaluation of properties of clay mineral-bearing geomaterials ・Properties of rock mass including macro-fracture filled with clay minerals
水工・海岸工学 Hydraulic and Coastal Engineering	和田 孝志 WADA Takashi wada-t@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・混合砂礫の移動機構と河床変動予測 ・河道への土砂供給による河床変動、流路変動 ・土砂動態に及ぼす河道構造物の影響 ・土石流流動メカニズムの解明 ・山地～河川～河口域にわたる流砂系内の土砂動態把握
	黒岩 正光 KUROIWA, Masamitsu kuroiwa@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・波と海浜流の数値解析モデル ・濃砂と海浜変形予測 ・河口・航路の維持管理 ・沿岸防災とモニタリング ・河川流や津波による地形変化解析
	梶川 勇樹 KAJIKAWA, Yuki kajikawa@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Numerical model of waves and nearshore currents ・Coastal sediments and Prediction of coastal geomorphological change ・Maintenance of river-mouth, port and harbor ・Coastal disaster and monitoring ・Numerical analysis of topography change due to river flow or tsunami
地圏環境・ 建築工学 Geo-spherical Environmental and Architectural Engineering	香川 敬生 KAGAWA, Takao kagawa@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・強震動予測の高度化に関する研究 ・震源破壊過程・地盤構造が地震動に及ぼす影響 ・地球物理学的手法に基づく地下構造の探査とモデル化
	山口 秀文 YAMAGUCHI, Hidefumi h-yamaguchi@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・居住と地域の持続性 ・歴史的建造物の保存活用と歴史的資源を活かしたまちづくり ・地域文脈と地域文脈デザイン ・公共建築の市民共創に関する研究 ・建築工学教育の涵養過程に関する研究 ・工学教育における基礎造形教育に関する研究
	辻井 麻衣子 TSUJII, Maiko K. m.tsujii@tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Sustainable Living and Community Sustainability ・Preservation and adaptive reuse of historic buildings and community development based on historical resources ・Local context and context-sensitive design ・Citizen co-creation of public architecture ・Cultivation process of architectural engineering education ・Basic education of fine arts in engineering education

教育研究分野 Field of Education- Research	教員名・連絡先 Supervisor Place to Contact	研究テーマ Research Theme
都市計画 Urban Planning	福山 敬 FUKUYAMA, Kei fukuyama■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・地域都市システムの理論・実証分析 ・社会経済モデルによる定量的政策評価手法の開発 ・都市地域・空間データの解析 ・土木計画学・都市計画
	細江 美欧 HOSOE, Mio mhosoe■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Institutional design and analyses of regional socio-economic systems ・Public policy evaluation ・Analysis of urban regional and spatial data ・Infrastructure planning and management, and urban planning
経営システム Management Systems	長江 剛志 NAGAE, Takeshi nagae■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・産業間波及効果を考慮した政策分析のための多地域応用一般均衡モデル分析手法の開発と実証 ・人口減少社会における居住空間/道路空間の設計 ・不確実性下の社会基盤整備事業のマネジメントと財務価格評価 ・土木計画学・交通工学・地域科学・都市経済学 <ul style="list-style-type: none"> ・Multi-regional computable general equilibrium model and its application ・Design of residential and road space in a society with decreasing population ・Management and pricing of infrastructure projects under dynamic uncertainty ・Infrastructure planning and management, transportation engineering, regional science and urban economics
情報システム Information Systems	桑野 将司 KUWANO, Masashi kuwano■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・生活・交通行動分析手法の開発 ・ビッグデータを用いた計画論 ・土木計画学・交通工学・都市計画 ・サービスの品質管理・評価 ・意思決定モデルの開発
	南野 友香 MINAMINO, Yuka minamino■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Activity - travel behavior analysis ・Big data based planning theory ・Infrastructure planning and management, transportation engineering, and urban planning ・Service quality control and evaluation ・Decision making models
公共システム Public Systems	谷本 圭志 TANIMOTO, Keishi tanimoto■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・持続的社会システムの計画方法論の開発 ・生活交通システムの計画論 ・生活支援サービスの設計・分析 ・市民参加型計画プロセスの設計 ・地域運営組織の分析・評価
	長曽我部 まどか CHOSOKABE, Madoka mchoso■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Methodologies for sustainable society planning ・Planning theory of local transport system ・Design and analysis of daily support services ・Design of participatory planning process ・Analysis and evaluation of regional management organization
防災計画・維持管理工学 Disaster Prevention Planning and Infrastructure Maintenance Engineering	太田 隆夫 OTA, Takao ohta■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・避難シミュレーション等に基づくソフト防災 ・沿岸防災施設の性能評価に関する研究 ・社会基盤施設の維持管理モデルに関する研究 ・XR (Cross Reality) とAIによる橋梁維持管理支援システムに関する研究 ・舗装路面評価システムに関する研究
	江本 久雄 EMOTO, Hisao emoto■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Soft measures for disaster prevention based on evacuation simulation ・Performance evaluation of coastal disaster prevention facilities ・Maintenance management model for infrastructure ・Bridge management support system by XR and AI ・Road pavement management system by AI and motion sensor
環境計画 Environmental Planning	宮本 善和 MIYAMOTO, Yoshikazu miyamoto■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・流域/環境経営に関する社会デザイン ・環境デザインに関する研究 ・気候変動の適応策としての防災マネジメント ・循環型社会に向けた微生物の応用 ・水質環境の保全, 管理 ・環境配慮型社会システム
	高部 祐剛 TAKABE, Yugo takabe.yugo■tottori-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・Social design on watershed or rural environmental management ・Design for the preservation of environments ・Disaster risk management for adaptation to climate change ・Application of microorganisms for establishing recycling-based society ・Water quality control and management ・Current issues in global environmental protection

住 所 シ ー ル

〔注意事項〕

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
住所							
氏名							
様							
※ <input type="text"/>							

1. 郵便番号、住所、氏名を正確に記入してください。
2. 団地の棟番号、戸番や下宿先の「様方」なども必ず記入してください。
3. 折ったり、はがしたりしないでください。
4. ※欄は記入しないでください。

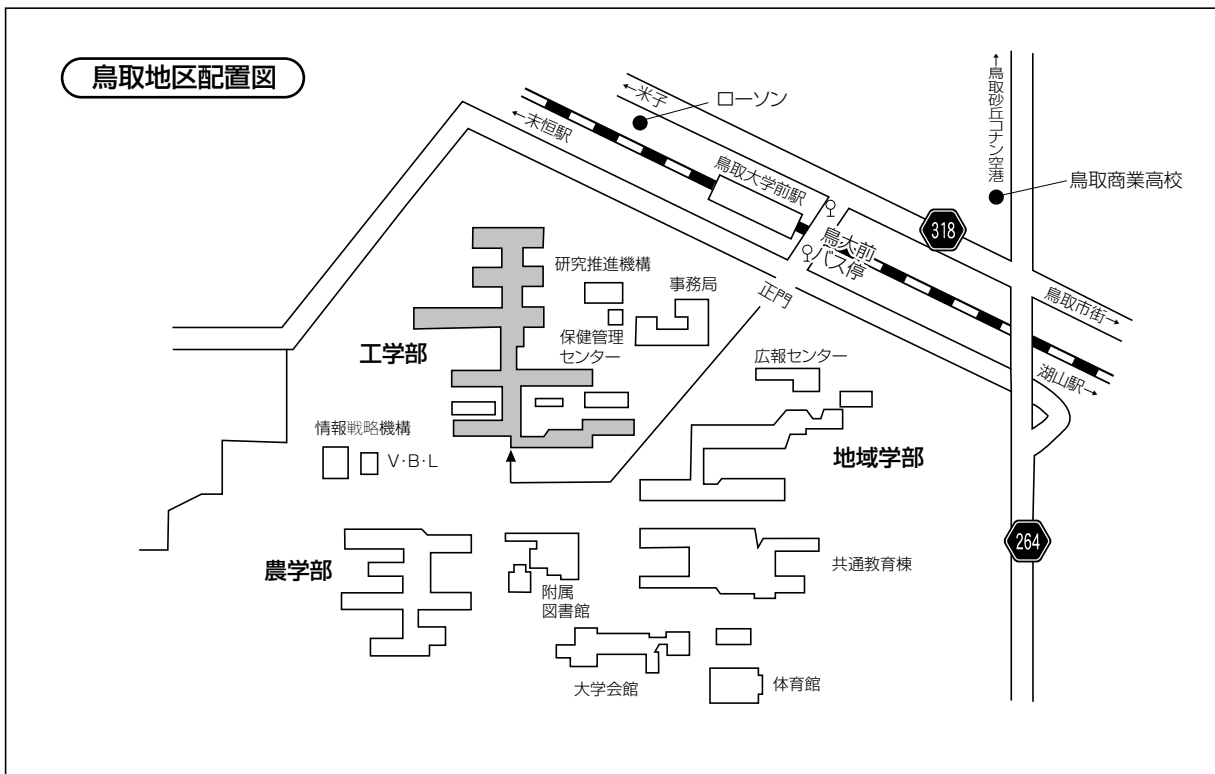
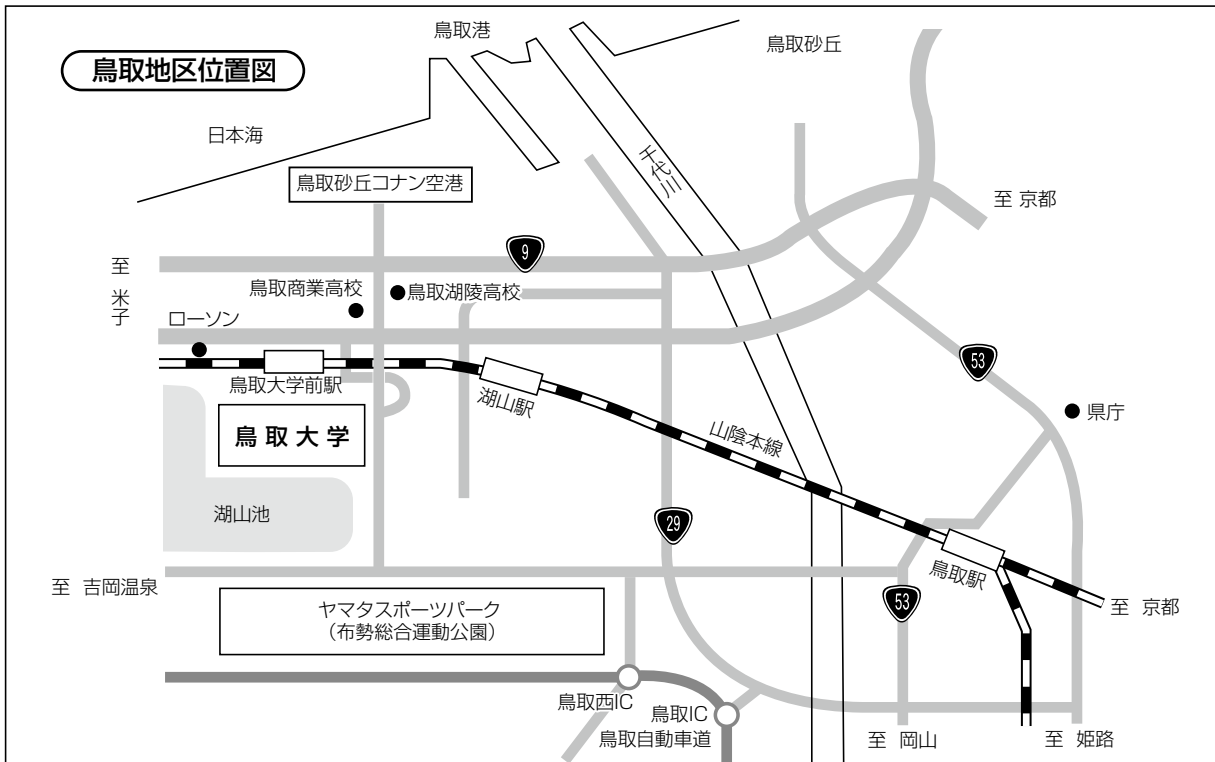
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
住所							
氏名							
様							
※ <input type="text"/>							

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
住所							
氏名							
様							
※ <input type="text"/>							

試験場案内

鳥取地区（工学部）試験場への道順

- (1) J R 鳥取大学前駅で下車すぐ
 - (2) J R 鳥取駅北口バスターミナルからバスを利用し、鳥大前下車（所要時間約30分）
 - (3) 鳥取砂丘コナン空港からタクシーで約5分、徒歩約30分
- ※飛行機他、公共交通機関を利用の場合は、天候の不順等による遅延・欠航・運休にご留意願います。



受験に関する問い合わせ先

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科
博士前期課程工学専攻

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地

鳥取大学工学部教務係（TEL 0857-31-5186）

E-mail : en-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp